



# こんにちは 向陽台保育園です



向陽台保育園 稲城市向陽台5-8 2025・10月号

電話 042(378)7790

<https://www.kouyoudaihoikuen.com>

向陽台保育園HP

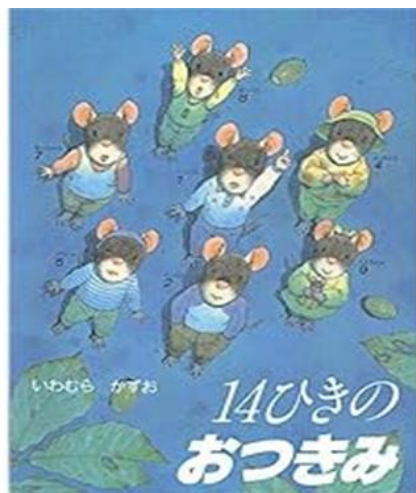
ようやく夏の暑さから解放され、カラッとした秋らしい晴れた日が続くようになってきました。ひと昔まえからと比べると、秋らしい日を感じる時期はずいぶん後ろにきてしまっているように感じます。それでも、向陽台保育園の園庭にある「ひめりんごの木」は、付けた実の色がちゃんと赤く色づいてきましたし、「カリンの木」も大きくなった実を黄色く色づかせてきています。人間はつい暑さばかりに目を向けがちになりますが、自然は暑さの中でも一步一步季節を感じて、実を実らせているのだということを感じさせてくれます。



向陽台保育園の子どもたちはこれから「みんなであそぼう会」（親子で身体を動かす会）、「秋の遠足」など、この気持ちよい季節ならではの行事が目白押しです。外の空気を胸いっぱい吸って、のびのびと楽しむ子どもたちの姿を見ることができるのが、今からとても楽しみです。

## 2歳児クラスのおたよりから…絵本のご紹介

秋の夜長に、お子さんとこんな本はいかがでしょう？ 向陽台保育園2歳児クラスのおたよりに紹介されていたお話です。



14匹の野ネズミの家族が十五夜のお月見を準備するお話です。  
榎の木の上にお月見台を作り、ススキや団子、栗の実、どんぐりをお供えします。  
満月が登り自然の恵みに感謝する物語です。  
野ネズミには一人一人名前が付いているので子どもたちは親しみを持って絵本の世界に入っている様子が見られています。  
お供え物を目にする「おだんごー！」と声に出している子どもたちです◎

## 「どうやったらいいだろう…？」考えるこどもたち

10月25日(土)に行われる向陽台保育園の「みんなであそぼう会」。あそびながら親子で身体を動かそう！身体を動かすって楽しいね！というテーマで、幼児クラスさんが毎年この時期に向陽台小学校の校庭を借りて行っています。



この「みんなであそぼう会」では、子どもたちが行うゲームの中に、必ず1つ、『みんなで協力し、知恵を出し合って取り組む』ゲームを取り入れるという試みをしています。その内容は毎年変わりますが、①自分たちが作ったものしか使えない、②保育者は知恵や力を貸してはならない、という2つの大原則があります。子どもたちがコミュニケーションを取り合って、一つの目標に向かって考え合い、協力して目標を達成する経験をしてほしいという園としてのねがいがあるからです。

今年度は『玉入れ』を行うことになりました。通常『玉入れ』は、玉をかごの中に投げ入れ、入った数を競うというものですが、今回先生たちが考えた『玉入れ』は、「子どもたちが自分たちで考えて作った道具を使って、かごの中に玉を入れてもいい」というルールでした。



始めに、通常の道具が無い状態での玉入れをやってみましたが、子どもたちにとってはなかなか思ったようには玉が入ってくれないという実感だったようです。そこで子どもたちは考え始めました。どうやったらかごにたくさん玉が入るようになるのだろうか…？

あるクラスは、「かごまでの距離が近ければ、入れやすいのでは？」と考えました。そこで、どうやったらかごまでの距離を縮められるか…と考え、思いついたのが、踏み台でした。大きめの段ボール箱を集めて、その上に乗ることにしたのです。しかし、段ボール箱に乗ってみたいところ体重で箱が潰れてしまうことがわかり、潰れないように箱の中に詰め物をしたり、すぐに上れるように箱を階段状に並べる工夫も考えました。一個一個玉を投げ入れるのではなく、ある程度の玉を箱に集めて、一気にかごに入れるという作戦を思いつくクラスもありました。各クラスとも、本番までに何度か設けられている練習試合でその成果を確認しては、ライバルの作戦を見て刺激を受けているようです。



せっかく階段状の箱を用意したけれど、上に立つ人が下までいちいち降りてきて玉を拾って入れに行くのは効率が悪いことに気が付けば、拾う人・運ぶ人・入れる人と役割の分担を考えたり、せっかく箱に玉をたくさん入れても肝心のかごまでの距離が離れすぎていたために、かごから玉がこぼれてしまうことが分かれば階段とかごの距離を調整したり…。



回数を重ねるにつれ、子どもたちの中でどんどん意見を出し合って、作戦が高度になっていってきていると感じます。

さて、本番はどのような姿が見られるのでしょうか。子どもたちが一生懸命考えて協力してチャレンジする姿に期待したいと思います。